

尾鍋組

エコジオ工法が採用

公共工事の液状化対策で

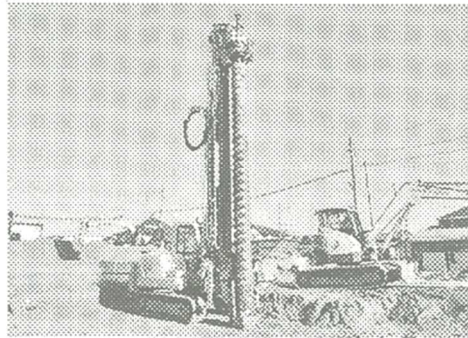
尾鍋組(三重県松阪市、尾鍋哲也社長)は、自然砕石だけを使用する地盤改良技術「エコジオ工法」が公共工事の液状化対策工法として採用されたと発表した。

対象現場は、東日本大震災で液状化被害が発生した千葉県我孫子市の市

営住宅の液状化対策工事。深さ約4.5メートルの砕石杭を約750本施工した。発注は我孫子市。施工期間は2013年12月～14年1月。

エコジオ工法は三重大学と共同開発した工法で、自然砕石だけを使用して砕石杭を構築する。

住宅用の小型地盤改良機に特殊なケーシングを装着して施工する。



市営住宅の液状化対策で採用されたエコジオ工法

公共工事での実績をきっかけに、全国の住宅や公共施設の地盤改良、液状化対策技術として技術の普及と施工ネットワーク

ク拡大を目指す。
問い合わせ先はエコジオ工法協会 電話0598(46)0234。